

2017年度 小学5年生 講座概要

算数

数概念、空間の把握能力を高め、対象の本質を見る力・全体として対象をとらえる力を身に付けます。
 難しい文章題も解いていき、図や表を使って情報をまとめる力を育てます。
 分数・小数の四則演算や、円や球といった難しい図形もマスターします。



個人成績表

10180015001 漢山英語教室

5年生第3回

基本問題

教科	配点	得点	平均点	偏差値	順位	受験者数
算数	50	50	33	63	1	1654
国語	50	40	31	60	253	1654
理科	50					
社会	50					
2科	100	90	64	64	73	1654
3科	150					
4科	200					

応用問題

教科	配点	得点	平均点	偏差値	順位	受験者数
算数	50	40	13	82	6	1654
国語	50	43	24	68	41	1654
理科	50					
社会	50					
2科	100	83	37	79	6	1654
3科	150					
4科	200					

総合

教科	配点	得点	平均点	偏差値	順位	受験者数
算数	100	90	46	73	4	1654
国語	100	83	55	66	71	1654
理科	100					
社会	100					
2科	200	173	100	72	6	1654
3科	300					
4科	400					

項目別

項目	項目内容	得意の分野	配点	得点	平均点
算	1 計算 基礎		16	16	11
	2 一行四則 基礎		18	18	12
	3 平均に関する文章題 基礎		8	8	5
	4 割合の割合の割合とまわりの長さ 基礎		8	8	5
	5 文章 応用		10	10	6
	6 一行四則 応用		20	15	5
	7 つるかめ算 応用		10	10	1
	8 水量の変化とグラフ 応用		10	5	0
国	1 論述文 基礎		36	28	22
	2 知識 基礎		10	8	5
	3 漢字 基礎		4	4	3
	4 読解文 応用		36	30	18
	5 知識 応用		10	9	4
	6 漢字 応用		4	4	2
理	1		20		
	2		15		
	3		15		
	4		25		
	5		20		
	6		5		
社	1		30		
	2		20		
	3		27		
	4		23		

偏差値推移グラフ (基本問題)

偏差値推移グラフ (応用問題)

偏差値推移グラフ (総合)



個人成績表

10180015001 漢山英語教室

5年生第2回

基本問題

教科	配点	得点	平均点	偏差値	順位	受験者数
算数	50	50	32	64	1	1584
国語	50	45	33	63	129	1580
理科	50					
社会	50					
2科	100	95	65	66	36	1580
3科	150					
4科	200					

応用問題

教科	配点	得点	平均点	偏差値	順位	受験者数
算数	50	50	12	90	1	1584
国語	50	44	17	76	1	1580
理科	50					
社会	50					
2科	100	94	29	87	1	1580
3科	150					
4科	200					

総合

教科	配点	得点	平均点	偏差値	順位	受験者数
算数	100	100	43	78	1	1584
国語	100	89	50	72	15	1580
理科	100					
社会	100					
2科	200	189	94	78	1	1580
3科	300					
4科	400					

項目別

項目	項目内容	得意の分野	配点	得点	平均点
算	1 計算 基礎		16	16	12
	2 一行四則 基礎		18	18	11
	3 割合 基礎		8	8	4
	4 行程算 基礎		8	8	5
	5 文章 応用		10	10	6
	6 一行四則 応用		20	20	4
	7 割合に関する問題 応用		10	10	1
	8 体積と表面積 応用		10	10	0
国	1 読解文 基礎		36	32	21
	2 知識 基礎		10	10	9
	3 漢字 基礎		4	3	3
	4 読解文 応用		36	30	12
	5 知識 応用		10	10	3
	6 漢字 応用		4	4	2
理	1		20		
	2		15		
	3		15		
	4		25		
	5		20		
	6		5		
社	1		30		
	2		20		
	3		27		
	4		23		

偏差値推移グラフ (基本問題)

偏差値推移グラフ (応用問題)

偏差値推移グラフ (総合)



空間把握能力を育てる数と図形の融合学習 ⑤

数理つみき・色板など特別教材を使用した図形学習をします。

具体物による様々な視点からのヒントを見ることで、図形問題を解く上で最も大切な「イメージング力」を身に付けます。特に黒板やテキストでは理解しにくい、立体図形・回転体・展開図などの理解を深めます。

1. (小三角形 2 片、小台形 2 片) のグループと、(中三角形 2 片、大三角形 1 片) のグループでそれぞれ次の図形を作りましょう。
 (1) 三角形 (2) 正方形 (3) 長方形 (4) 台形 (5) 平行四辺形
 合同なものを作れないのはどれでしょう。
2. 小三角形 2 片、中三角形 2 片、大三角形 1 片、小台形 2 片の 7 個で三角形から六角形まで作れますが、正多角形は正方形しか作れません。なぜでしょう。
3. 小三角形 2 片、中三角形 2 片、大三角形 1 片、小台形 2 片で作りましょう。
 (1) 直角の頂点を 3 つもつ五角形
 (2) 直角の頂点を 1 つもつ五角形
 (3) 隣りあった 2 つの頂点が直角である六角形
 (4) 向かいあった 2 つの頂点が直角である六角形
4. 色板各片の面積を次の順序にしたがって求めましょう。
 (1) 平行四辺形と中三角形の底辺を高さをも測って、公式を使います。
 (2) 小台形の上底と下底と高さをも測って、公式を使います。
 (3) 正方形、大三角形、小三角形、大台形の辺の長さとも高さをも小数第一位まで測って、公式で計算した答えの小数第一位を四捨五入して、面積を求めます。
5. 半円のまわりの長さを物差しで測ってみましょう。そして、円周率を求め、半円の面積を出しましょう。
6. 次の図形を 6 片または 7 片で作れ、面積を求めましょう。

